

地域・防災だより

第45号 2019年9月
天嶽院下自治会・自主防災会
(作成協力)防災協カグループ

「天嶽院盆踊り」賑わう

今年の天嶽院「ふれあい盆踊り」は、8月31日(土)・9月1日(日)天嶽院の広場で行われ、お天気にも恵まれて大勢の地域の住民が家族連れで参加し賑わいました。この盆踊りは、天嶽院が地域の方々とのふれあいを大切にしていきたいと行われるもので、当自治会をはじめ周辺の自治会・町内会が協力して開催されました。



「夏休みラジオ体操会」に子供たちが元気に参加

今年も御幣下公園のラジオ体操会に、子供たちが元気に参加し行われ賑わいました。例年夏休みに計5回(予定)、ラジオ体操会と子供会が協力し実施しているもので、夏休みの朝の和やかなイベントです。



なお、藤沢市が市内の各ラジオ体操会に呼掛け、7月に開催が予定されていた「藤沢ラジオ体操会2019」は、台風のため中止でした。

自治会(自主防災会)が「自主防災訓練」実施(7月27日・土)



早朝の安否確認のタオル掛け(131家庭実施、実施率23.5%)に始まり、午前中御幣下公園において自主防災訓練が行なわれ、子どもを含む約50名が参加し、各訓練を熱心に取り組みました。



今年の訓練項目は、①安否確認 ②ロープワーク ③消火訓練 ④起震車による震度体験 ⑤応急救護訓練(AED 除細動器操作) ⑥防災倉庫の公開・機材点検などでした。



防災キャンペーン(家庭備蓄) 藤沢も含まれる南海トラフ巨大地震対策では、事前防災を重視し家庭での備蓄を1週間以上と呼び掛けています。従来3日以上と言われてきましたが、避難施設の藤ヶ岡中学校は、藤沢市が一定の備蓄を備え、かつ自治会(自主防災会)も若干の防災機材と、水や非常食の備蓄を行っていますが、充分ではありません。この為各家庭での食料・水、カセットコンロ、簡易トイレ、乾電池などの備蓄を最低でも1週間分確保して頂きたいのです。大災害時は公的支援が遅れる為、まずは「自助」が大原則であり、その上で「共助」「公助」になるのが過去の大災害からの教訓です。

自主防災本部・一時避難場所:御幣下公園

避難施設:藤中

広域避難場所(大火時等):天嶽院・藤中